

「課題解決型高度医療人材養成プログラム（2014年度選定分）」成果報告

取組大学：大阪府立大学

事業名称：在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成

取組概要：今後の地域包括ケアシステムにおいて求められる高い実践能力と指導能力を有する理学療法士・作業療法士を育成する環境・体制を整えるため、現職者に向けた「地域リハビリテーション学」コース（履修証明プログラム）および卒前教育プログラム「在宅リハビリテーション論・実習」を開設し、人材育成を行なった。

株式会社エンブレスとの連携
Medical Care Station

当事者

ICTツールを活用し、病院と在宅との円滑な情報共有を促進
多職種間情報共有システム

職能団体の生涯学習教育ポイントとの互換
キャリアパス形成

補助期間後2019年より文部科学省「職業実践力育成プログラム」認定事業
厚生労働省「専門実践教育訓練給付金」対象講座

大学院総合リハビリテーション学研究科

現職者対象「地域リハビリテーション学コース」履修証明プログラム

履修証明書
(修了生)
154通発行
対受入目標
180%

受講応募数
271人
対受入目標
246%

易受講に配慮した124時間
eラーニング:110時間
スクーリング:高利便性のサテライトキャンパス

多職種連携を推進するコンテンツ

講師には、PT、OT、医師、歯科医師、看護師、保健師、ケアマネジャー、社会福祉士、経済学者、行政関係者、情報ネットワーク専門家等

受講の波及効果

修了半年後、1年後の追跡調査
・実践場面へ85%が成果活用
・多職種連携にて56%が学びを活用
・地域ケア会議へ21%が参画
・職場上司への調査より、80%の上司が教育効果を実感

修了生による臨床講義
人材交流の強化

地域保健学域総合リハビリテーション学類

補助期間後必修科目へ

3回生「在宅リハビリテーション論」

受講生200人
(対目標100%)

受講生の88%が
主観理解度 > 70%

在宅現場の近似再現教育

・在宅リハビリテーション実習室の整備
・iPadによる実技動画配信

成果の波及

全国の養成校に向けて
「手引き」発信へ

4回生「在宅リハビリテーション実習」

受講生148人
(対目標106%)

受講生の71%が
成績評価 > 70点

在宅・地域での実践教育

・訪問・通所、介護予防事業での実習
・臨床指導者と大学教員連携のセミナー

在宅・地域ケア現場の
臨床実習体制構築
養成校施設指定規則の改正
に先駆けた成果

実習後セミナー

病院 cure



急性期病院
回復期病院

最新知識の提供
臨床指導者養成

病院勤務の
新人教育プログラム
大阪府立病院機構
での検討へ

在宅 care



訪問・通所
リハビリテーション
を実施する施設
事業所

最新知識の提供
臨床指導者養成

臨床講師として
人材交流